

水と緑と人の和でうるおいのあるまち

野木町

栃木県の最南端に位置する野木町は、県の玄関口として急速な発展を続けています。交通の便もよく、東京まではJR宇都宮線で約70分です。このことから、近年は転入者が増加し、ベッドタウンとしての側面も見られるようになってきました。また、町南部には野木工業団地、東部には野木東工業団地があり、工業発展も活発です。

一方で、豊かな自然も残り、温暖な気候、豊かな水源、肥沃な大地と恵まれた気候風土を揃えています。農業は盛んで、特に米・麦・果樹・施設園芸は町の特産です。



町の木●槐・えんじゆ
(昭和52年制定)

夏から秋にかけて、クリーム色の小さな花が穂状に集まって咲き、高さは10mにもなります。すくすくと伸びゆく姿が、躍進をする野木町にふさわしく選ばれました。



町の花●向日葵・ひまわり
(昭和52年制定)

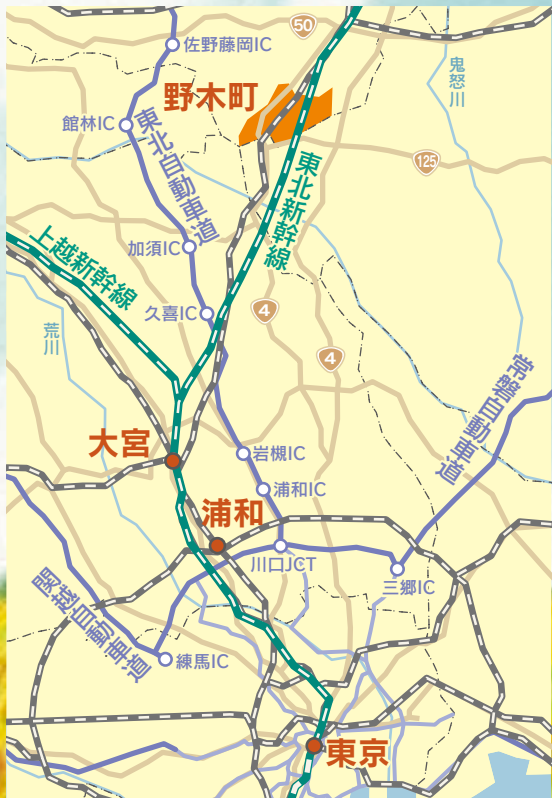
大地にしっかりと根ざし、真夏の青空へ向かって伸びるひまわりは、野木町のイメージにぴったりです。公害のない楽しい町として豊かに伸びることを願いを込めました。



町章(昭和48年制定)

「の木」を図案化したもので、力強い発展と調和を表しています。

位置：東経139度45分／北緯36度14分
海拔：24メートル
面積：30.25km²
人口総数：25,691人
(男：12,691人／女：13,000人)
世帯数：9,072世帯 ※H22.1.1現在



野木町役場 〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571
TEL.0280-57-4111

小さくともキラリと光るまちをめざしています

やさしさとやすらぎに満ち、一人ひとりが輝く個性と創造力に溢れたまちづくりを進めるため、次の3つを重点施策として掲げ取り組んでいます。

1

1 少子高齢化対策を進めています

- こども医療費助成の拡大
- 保育待機児童ゼロ化達成
- 高齢者生きがい事業など

2

2 町の活性化を進めています

- デマンドタクシー「キラ^{りん}輪号」の運行
- イルミネーション大作戦
- 花いっぱい運動など

3

3 町の安心・安全化を進めています

- 小中学校舎等の耐震化
- 木造住宅耐震診断等助成
- 高齢者見守りネットワークの構築など



Nogi View Point

野木町ビューポイント

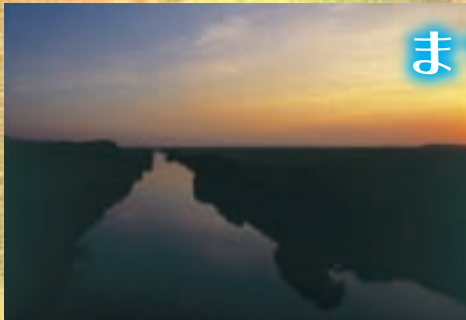
Flower

一面に広がるひまわり畑

夏の野木町を彩るのは、太陽を浴びて輝く大輪のひまわり。広大な敷地に、何万本もの花が咲き誇ります。毎年行われるひまわりフェスティバルは、大勢の人々で賑わう一大イベントとなっています。



Water



まちを潤す豊かな水源

栃木、群馬、埼玉、茨城の4県にまたがる日本最大の遊水地である渡瀬遊水地をはじめ、町の西側を流れる思川、赤塚ふれあい公園の憩いの水辺など、朝に夕に多様な景色を見せてくれる豊かな水辺がたくさんあります。

Land

風わたる緑の大地

どこまでも広がる田園風景は、野木町を代表する景観美。平地林の保全にも力を入れており、緑地公園や街路樹の整備も進んでいます。人々と自然が共生し、自然を慈しむ土壌を創生している町です。



History



受け継ぎたい悠久の歴史

江戸時代、野木町は宿場町として人や物資の流れを見守ってきました。俳人・松尾芭蕉もこの地を通ったとされています。明治時代には旧下野煉瓦製造会社の工場が建ち、現存するホフマン式煉瓦窯は、産業遺産として国の重要文化財に指定されています。

Festival

歓声をはじける伝統の祭

毎年12月3日に野木神社で行われる「提灯もみ」は、鎌倉時代に始まった七郷巡りが起源とされる祭。竹竿の先に火のついた提灯をつけ、掛け声とともにぶつけ合います。他にも太々神楽やささら獅子舞など、伝統的な祭が受け継がれています。

